

高校の在り方専門委員会協議テーマ

第1回 テーマ (H25. 2. 27)

「高校教育の現状と課題」

- 社会経済状況、産業構造の変化、県民のニーズ、少子化等にも対応した中長期的な視点での高校改革の必要性

第2回テーマ (H25. 6. 13)

(1)「リーダー性やグローバルな能力の育成」

- 世界や日本、地域社会でリーダーシップを発揮できる能力の育成
- グローバル社会で国際的に活躍できる能力の育成

第3回テーマ(H25.7. 2)

(2)「社会経済の基盤を担う能力の育成」

- ふるさとを支える地域社会人の育成
- 多様な進路目標を実現するための能力の育成

第4回テーマ(H25. 8. 27予定)

(3)「自立して社会生活を営む能力の育成」

- 多様な学習ニーズを持つ生徒への支援
- 多文化共生のための教育環境の整備

委員ご意見(抜粋)

- ① 現教育ビジョン策定後5年が経とうとしているが、社会の変化も大きく、高校の在り方そのものを見直す時期に来ている。
- ② 少子高齢化の進展や社会経済情勢の変化等、夢を持ちにくい状況ではあるが、この悪条件の中、いかに前向きに物事を考えるのかといったことが重要である。
- ③ 今後、高校の在り方を考える場合、リーダーシップやグローバルな能力の育成という言葉で表すのは簡単であるが、このために高校で具体的にどのような力を育成するのかといった観点からの検討が必要となる。
- ④ 人生のデザイン、働くことや社会人としての生き方のデザインが重要。そのためには幅広い思考力や議論が重要だが、これを教育方法や教育制度と関連づけ考える。
- ⑤ リーダーシップやグローバルな能力の育成の観点からも「自立」は重要な要素である。

- ⑥ 子どもたちの持っている力は無限大。その力を開花させるしくみづくりが大切である。
- ⑦ グローバルな能力には「柔軟性」と「アイデンティティ」が重要であり、他者を受け入れる力と自分の国をしっかりと理解し伝える力、その手段として英語力が必要となる。
- ⑧ 今までの普通科・理数科といった学科だけでなく、育成したい能力を明確に示した新しい学科を設置してはどうか。
- ⑨ グローバルな能力や、アイデンティティを持った子を中高一貫で育てるという考え方は良い。その学校ならではの取組を考えてほしい。その際、もっと地域の方を活用してほしい。
- ⑩ 周りに発信する機会を与えると、自分の枠から飛び出すチャンスになり、自信につながる。チャレンジすることで見えてくるものがある。アウトプット型の教育に変える必要がある。

- ⑪ 出口の就職を考え、企業の欲しい人材や分野などを把握して教育体制をつくらないと企業のニーズとの間でミスマッチが起こる心配がある。
- ⑫ 一つの専門だけではなく、グローバルな広い知識を持つために、いくつかの学科を合わせて新しい学科を設置してはどうか。
- ⑬ 総合学科の自分で授業を選び、職業を考える「意思」が組み込まれる仕組みは素晴らしい。社会の基盤となる力を実践を通して磨きチャレンジしていく場がつけられるのが望ましい。
- ⑭ 学校教育の中に地域を取り入れるべき。地域が高校をバックアップし、地域から発信する方法もある。デュアルシステムは、地域社会との係わりを意識した良い取組である。
- ⑮ 例えば教育センター附属高校など、教員の研修や養成で岐阜県教育を大きく変える取組を導入してはどうか。

8/27 第4回委員会で意見聴取予定

第2次岐阜県教育ビジョンに反映

第2次岐阜県教育ビジョン(重点施策)
中長期的な将来を見据えた高等学校の改革

第I章 基本的な方向性

1 高校教育の現状と課題

- (1) 高校を取り巻く環境の変化①②
- (2) 高校教育の将来的な課題(改革の必要性)④⑪

改革の方向性

2 高校改革のめざす基本的な方向性

- (1) リーダー性やグローバルな能力の育成③⑤⑥⑦⑧⑨⑩
- (2) 社会経済の基盤を担う能力の育成⑪⑫⑬⑭⑮
- (3) 自立して社会生活を営む基礎的能力の育成(8/27 第4回委員会で意見聴取予定)

具体的政策

第II章 具体的な政策

1 高校の枠組みの見直し ①⑫⑭

2 魅力ある高校づくり

【新しいタイプの学校の設置】

③⑤⑥⑦⑨⑩⑮

【普通科高校・普通科系専門学科】

⑤⑥⑦⑧⑬

【総合学科】

⑪⑫⑬⑭

【産業教育・専門高校】

⑧⑩⑪⑫⑬

【定時制・通信制高校】

【外国籍生徒への支援】

【学校種間の連携】